

泉大津市外部評価 アンケート集計 (33名/ 50名)

■現在の居住地について

	人	%
ア、市内	19	58
イ、市外	14	42

■年齢について

	人	%
ア、10歳代	0	0
イ、20歳代	1	3
ウ、30歳代	3	9
エ、40歳代	5	15
オ、50歳代	18	55
カ、60歳代	5	15
キ、70歳代	1	3
ク、80歳以上	0	0

■性別について

	人	%
ア、男性	28	85
イ、女性	5	15

■今回の泉大津市外部評価を知ったきっかけについて

	人	%
ア、広報紙	8	22
イ、市ホームページ	10	28
ウ、新聞	0	0
エ、知人の紹介	2	6
オ、その他	16	44
複数回答可・合計	36	100

■時間配分(1事業45分)について

	人	%
ア、長かった	3	10
イ、ちょうどよい	26	84
ウ、短かった	2	6

■泉大津市外部評価の実施について

	人	%	理由や改善点など 主な意見
ア、有意義である	20	61	○市の諸施策を色々な角度から評価し、点検する意義は大きい。施策のマンネリ化を防ぐことにつながる。
イ、どちらでもない	7	21	○公開する必要があるのか。 ○一般的な評価になりがちで、資料から読み取れない他の事業との比較ができない。
ウ、不満である	2	6	○一般市民の参加が非常に少ない。外部評価そのもののあり方を検討すべき。
無回答	4	12	

■市説明者の説明について

	人	%	理由や改善点など 主な意見
ア、良かった	16	47	○10分という短時間に事業の概要をうまく説明できていた。
イ、どちらでもない	13	38	○添付資料のバランスが悪い。 ○もう少し端的に質問に答えることが必要。事業の意義をしっかりと説明してほしい。
ウ、悪かった	2	6	○シートを読みあげるだけでなく、その事業への担当としての想いを強調しなければ、真剣に実施しているかどうか伝わらない。
無回答	3	9	

■各事業の評価結果について

	各事業の質疑や評価結果などに対して寄せられた主な意見
①交通安全教育・啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ○児童や高齢者に対する研修会などのように、一般市民に対してもPRをしてほしい。あまり実施しているという実感が無い。 ○課題から、交通事故の減少等の具体論を論じてほしい。(パトカーの配備など)
②文化フォーラム事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市が考える質の高い文化の提供を行っていると思うが、もっと若者向けに対しても考えてほしい。 ○泉大津市を知ってもらうためには、講演の内容と結びつける工夫が必要である。趣味で人が集まっているにとどまっている。 ○来年度以降の文化フォーラムの見通しが不明。 ○プログラムの選定について一部に課題がある。
③包括連携大学交流事業 (シニアラーニングアップ事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の知識の享受のためだけなら補助は必要ない。市にどのようなフィードバックがあるのか検証が必要。 ○時間軸で見た場合、広がりが無い。 ○もっと違った型の事業を考えるべき。
④認可外保育施設健康診断助成事業	—
⑤住基・印鑑登録事務事業	<ul style="list-style-type: none"> ○コンビニ交付など市民サービスを充実すべき。

■今後の泉大津市外部評価について

	人	%	理由や改善点など 主な意見
ア、開催した方が良い	16	48	<ul style="list-style-type: none"> ○公開開催の必要性はあるのかを考える。結果をHPや広報紙で報告でもよいのでは。
イ、開催しない方が良い	3	9	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の参加が非常に少ないので、このような形で開催するメリットはないように思う。この事業そのものを再検討すべき。 ○公開で外部の方の評価が必要な事業なのか疑問に思う。市で検討していけばいい事業もあるのではないか。この外部評価自体必要か、検討が必要ではないか。
ウ、どちらでもない	5	15	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の選定基準がわからない。財政的にごく小規模の事業より、もっと大きな事業を評価の対象とすべきでは。 ○一般市民の参加が少ない。 ○評価が妥当かどうかわからない。(評価委員の質の問題)
無回答	9	27	

■その他、ご意見等 (主な意見)

<ul style="list-style-type: none"> ○ネットで動画発信してはどうか。 ○委員のひとと担当者の話の中から、どんな事業をしているのか分かってくるので、続けてほしい。 ○外部評価での委員の意見を今後につなげていく工夫ができるように、担当部局が意識をもってやっていく事が外部評価をした意味があると思う。
